

2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月15日

上場会社名 株式会社ショーエイコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 9385 URL <https://www.shoei-corp.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芝原 英司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部門担当 (氏名) 稲谷 和樹 (TEL) 06-6233-2636
 定時株主総会開催予定日 2026年6月25日 配当支払開始予定日 2026年6月26日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月24日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	19,047	0.1	1,331	78.1	1,298	73.7	853	82.7
2025年3月期	19,031	△2.1	747	△3.8	747	△48.2	467	△53.7
(注) 包括利益	2026年3月期 1,014百万円(61.1%)		2025年3月期		630百万円(△45.3%)	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	110.47	-	18.1	12.1	7.0
2025年3月期	60.48	-	11.6	7.5	3.9
(参考) 持分法投資損益	2026年3月期	-百万円	2025年3月期	-百万円	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	11,011	5,137	46.7	664.79
2025年3月期	10,433	4,276	41.0	553.47
(参考) 自己資本	2026年3月期	5,137百万円	2025年3月期	4,276百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	1,168	△419	△793	1,084
2025年3月期	926	△987	275	1,110

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	-	0.00	-	20.00	20.00	154	33.1	3.8
2026年3月期	-	0.00	-	35.00	35.00	270	31.7	5.7
2027年3月期(予想)	-	0.00	-	35.00	35.00		27.8	

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日~2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	20,267	6.4	1,439	8.1	1,375	6.0	972	13.9	125.82

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期	7,850,000株	2025年3月期	7,850,000株
2026年3月期	122,736株	2025年3月期	122,736株
2026年3月期	7,727,264株	2025年3月期	7,727,264株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当資料に記載の業績予想は、現在入手可能な情報に基づき判断した予想であり、多分に不確実な要素を含んでいません。実際の業績等は今後の様々な要因によって上記の予想数値とは異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(表示方法の変更)	12
(セグメント情報)	12
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や政府の物価高対策による個人消費の持ち直し、また高水準な企業収益を背景に設備投資が底堅く推移したこともあり緩やかに回復しております。一方、期末において中東情勢の緊迫化が急速に進行し、原油・ナフサ等の輸入原材料の供給・調達に対する不安が国内産業全体へ広がり、資源価格高騰や急激な為替変動により、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境は、様々な外部環境により先行きが見通しづらい中、原料価格の高騰、輸入仕入価格の上昇といった厳しい事業環境が続いております。そのような中、高付加価値商品の開発、仕入調達ルートの多角化といった収益改善策を継続しつつ、企画提案力の強化、取扱領域の拡大、顧客の多様な要望に応えるための継続的な投資、研究開発人材の強化や指導体制の整備を進め、複合営業の本格化につなげてまいります。これからも総合支援メーカーとして、当社グループの総力を結集し企業価値を高めてまいります。

その結果、当連結会計年度における売上高は19,047百万円（前年同期比0.1%増）となりました。利益面につきましては、営業利益は1,331百万円（前年同期比78.1%増）、経常利益は1,298百万円（前年同期比73.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は853百万円（前年同期比82.7%増）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

(営業促進支援事業)

当セグメントにつきましては、お客様自身の営業を一層促進していただくために、商品や販促品の企画開発から、アSEMBリなどの生産支援、配送にいたるまで商品・サービスの提供をする事業であります。

資材や販促品キャンペーンを軸とする販売は、販促企画案件について大口の減少はあったものの、高付加価値商品のリピートは順調に推移し、新規市場の開拓を積極的に推進した結果、前年同期を上回りました。OEMについては、自社工場を活用した雑貨や化粧品等のピロー包装やアSEMBリ作業は順調に推移しており、日用雑貨品の充填等についてもエンドユーザーへの複合販売を強化推進したことで受注が増加し前年同期を大きく上回りました。発送代行については、環境の変化による通数の減少があるものの、ゆうメール案件数の増加があり前年同期を上回りました。しかし収益認識基準による相殺額の増加により売上への寄与が小さくなったことから結果的には前年同期を下回りました。

利益面につきましては、高付加価値商品の販売が拡大したこと、またアSEMBリ案件の増加に伴う自社工場の稼働率が高かったことから、セグメント利益額、利益率ともに増加いたしました。

その結果、売上高は10,105百万円（前年同期比6.6%増）、セグメント利益は874百万円（前年同期比146.9%増）となりました。

(商品販売事業)

当セグメントにつきましては、100円ショップやドラッグストアなどの小売販売店に向けて、商品を企画提案し、製造・調達し、提供する事業であります。

100円ショップ向けについては、環境対応型商品の投入や消臭袋や鮮度保持袋に代表される付加価値の高いポリエチレン製品を中心として堅調に推移し、また新商品において機能性・利便性・アイディア性といった付加価値の高い雑貨商品の売上も好調でありました。しかしながら、定番商品において市場環境の変化や価格競争の影響を受け、売上高は前年同期を下回りました。量販店向けについては、ポリエチレン製品は100円ショップ向け同様安定した売上があるものの、収益性を高める方針のもと低利益率の商品の販売を縮小していることが影響し減少となりました。

利益面につきましては、より収益性の高い商品や市場価値に合った商品の投入を引き続き進めていったこと、またサプライヤーの多角化を行うといった原価低減に努めたことから、セグメント利益額は前年同期を上回りました。

その結果、売上高は9,115百万円（前年同期比6.0%減）、セグメント利益は456百万円（前年同期比16.1%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産の部)

当連結会計年度末における流動資産の残高は6,811百万円となり、前連結会計年度末に比べ178百万円増加しました。これは電子記録債権、未収入金等は減少したものの、主に受取手形及び売掛金、原材料及び貯蔵品等が増加したことによるものであります。固定資産の残高は4,199百万円となり、前連結会計年度末に比べ398百万円増加しました。これは主に無形固定資産、投資有価証券等が増加したことによるものであります。

(負債の部)

当連結会計年度末における流動負債の残高は4,405百万円となり、前連結会計年度末に比べ83百万円減少しました。これは未払法人税等は増加したものの、主に短期借入金等が減少したことによるものであります。固定負債の残高は1,468百万円となり、前連結会計年度末に比べ199百万円減少しました。これは主に長期借入金等が減少したことによるものであります。

(純資産の部)

当連結会計年度末における純資産の残高は5,137百万円となり、前連結会計年度末に比べ860百万円増加しました。これは主に利益剰余金等が増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ26百万円減少し、1,084百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1,168百万円となりました。これは主に法人税等の支払額245百万円あったものの、税金等調整前当期純利益1,283百万円、減価償却費240百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は419百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出179百万円、無形固定資産の取得による支出158百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は793百万円となりました。これは主に長期借入れによる収入60百万円があったものの、短期借入金の純減額300百万円、長期借入金の返済による支出321百万円、配当金の支払額154百万円等があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

国内経済情勢については、雇用情勢の改善や賃上げの定着が支えとなり緩やかな回復基調が見込まれるものの、家計の物価は高止まりし実質購買力は脆弱、米中の景気や地政学リスクもあり先行き不透明な状況が続く見通しであります。

そのような中で、当社グループは、傘下の製造拠点であるSHOEI PLASTIC (THAILAND) CO., LTD.、4月に吸収合併した株式会社ファインケメティックスに加え、調達拠点である上海照栄社商貿有限公司を含めたグループ全体の連携を強化し、多様な顧客ニーズに対応できる体制を構築しております。また、営業促進支援事業と商品販売事業の枠を超えた商品開発を推進するため、開発部門の整備・強化を継続しております。これらにより、当社の各種サービスを複合的に提供し、顧客の事業活動を総合的に支援してまいります。

次期(2027年3月期)の連結業績見通しにつきましては、売上高は20,267百万円(前年同期比6.4%増)といたしました。営業利益は1,439百万円(前年同期比8.1%増)、経常利益は1,375百万円(前年同期比6.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益972百万円(前年同期比13.9%増)を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、日本基準により作成する財務諸表が当社グループの経営成績、財政状態及びキャッシュ・フローの状況を示す上で適切であると判断しており、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、国際会計基準(I F R S)の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,110,707	1,084,352
受取手形及び売掛金	2,363,294	2,558,794
電子記録債権	701,026	566,150
商品及び製品	1,692,345	1,727,807
仕掛品	170,947	198,462
原材料及び貯蔵品	399,696	548,912
前渡金	41,764	18,897
未収入金	68,661	2,304
その他	88,115	110,021
貸倒引当金	△3,765	△4,030
流動資産合計	6,632,794	6,811,671
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,562,623	1,614,560
減価償却累計額	△810,810	△883,473
建物及び構築物(純額)	751,812	731,086
機械装置及び運搬具	1,061,829	1,192,121
減価償却累計額	△760,483	△849,951
機械装置及び運搬具(純額)	301,345	342,170
工具、器具及び備品	314,086	369,585
減価償却累計額	△264,257	△300,905
工具、器具及び備品(純額)	49,828	68,680
土地	1,510,513	1,548,013
リース資産	480,157	344,279
減価償却累計額	△326,717	△247,193
リース資産(純額)	153,439	97,086
建設仮勘定	6,358	13,717
有形固定資産合計	2,773,299	2,800,754
無形固定資産		
リース資産	7,651	4,860
その他	41,082	184,852
無形固定資産合計	48,733	189,712
投資その他の資産		
投資有価証券	582,080	683,205
差入保証金	140,319	209,285
退職給付に係る資産	207,991	257,364
繰延税金資産	5,653	16,582
その他	81,558	43,048
貸倒引当金	△38,800	△326
投資その他の資産合計	978,803	1,209,160
固定資産合計	3,800,836	4,199,626
資産合計	10,433,630	11,011,298

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,118,716	1,096,772
短期借入金	2,330,000	2,030,000
1年内返済予定の長期借入金	312,357	292,741
リース債務	70,679	57,935
未払金	172,782	170,992
未払費用	145,798	156,137
未払法人税等	120,997	343,297
未払消費税等	58,100	90,645
賞与引当金	122,779	119,265
その他	36,626	47,589
流動負債合計	4,488,837	4,405,377
固定負債		
長期借入金	1,110,841	917,850
リース債務	127,784	62,994
繰延税金負債	203,816	238,870
退職給付に係る負債	60,655	46,808
長期末払金	137,022	137,022
その他	27,860	65,335
固定負債合計	1,667,979	1,468,881
負債合計	6,156,816	5,874,258
純資産の部		
株主資本		
資本金	715,615	715,615
資本剰余金	807,752	807,752
利益剰余金	2,238,836	2,937,942
自己株式	△56,918	△56,918
株主資本合計	3,705,285	4,404,392
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	211,542	287,071
繰延ヘッジ損益	△1,308	840
為替換算調整勘定	361,294	444,735
その他の包括利益累計額合計	571,528	732,647
純資産合計	4,276,814	5,137,039
負債純資産合計	10,433,630	11,011,298

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	19,031,005	19,047,002
売上原価	14,873,364	14,368,957
売上総利益	4,157,640	4,678,045
販売費及び一般管理費	3,410,123	3,346,865
営業利益	747,516	1,331,179
営業外収益		
受取利息	1,368	702
受取配当金	9,799	30,770
デリバティブ評価益	17,948	905
資材売却収入	5,143	5,282
障害者雇用調整金	4,228	4,756
その他	5,857	6,099
営業外収益合計	44,346	48,516
営業外費用		
支払利息	33,541	63,927
支払手数料	5,231	5,423
貸倒引当金繰入額	△1,571	0
その他	7,151	11,838
営業外費用合計	44,352	81,189
経常利益	747,510	1,298,506
特別利益		
固定資産売却益	200	3,550
特別利益合計	200	3,550
特別損失		
固定資産除却損	2,908	13,528
投資有価証券売却損	—	4,996
特別損失合計	2,908	18,524
税金等調整前当期純利益	744,803	1,283,531
法人税、住民税及び事業税	241,882	440,309
法人税等調整額	35,568	△10,429
法人税等合計	277,451	429,879
当期純利益	467,351	853,651
親会社株主に帰属する当期純利益	467,351	853,651

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	467,351	853,651
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22,158	75,528
繰延ヘッジ損益	△5,393	2,149
為替換算調整勘定	145,931	83,441
その他の包括利益合計	162,696	161,118
包括利益	630,048	1,014,770
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	630,048	1,014,770

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	715,615	807,752	1,926,029	△56,918	3,392,479
当期変動額					
剰余金の配当			△154,545		△154,545
親会社株主に帰属する 当期純利益			467,351		467,351
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	312,806	-	312,806
当期末残高	715,615	807,752	2,238,836	△56,918	3,705,285

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	189,384	4,084	215,363	408,831	3,801,311
当期変動額					
剰余金の配当					△154,545
親会社株主に帰属する 当期純利益					467,351
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	22,158	△5,393	145,931	162,696	162,696
当期変動額合計	22,158	△5,393	145,931	162,696	475,502
当期末残高	211,542	△1,308	361,294	571,528	4,276,814

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	715,615	807,752	2,238,836	△56,918	3,705,285
当期変動額					
剰余金の配当			△154,545		△154,545
親会社株主に帰属する 当期純利益			853,651		853,651
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	699,106	-	699,106
当期末残高	715,615	807,752	2,937,942	△56,918	4,404,392

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	211,542	△1,308	361,294	571,528	4,276,814
当期変動額					
剰余金の配当					△154,545
親会社株主に帰属する 当期純利益					853,651
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	75,528	2,149	83,441	161,118	161,118
当期変動額合計	75,528	2,149	83,441	161,118	860,225
当期末残高	287,071	840	444,735	732,647	5,137,039

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	744,803	1,283,531
減価償却費	187,887	240,649
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△16,807	△38,208
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,282	△3,513
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	37,253	△49,373
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△9,708	△15,382
受取利息及び受取配当金	△11,168	△31,472
支払利息	33,541	63,927
固定資産除却損	2,908	13,528
固定資産売却損益 (△は益)	△200	△3,550
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	4,996
デリバティブ評価損益 (△は益)	1,415	△905
売上債権の増減額 (△は増加)	370,565	△38,733
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△9,660	△171,646
仕入債務の増減額 (△は減少)	111,380	△8,831
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△28,213	32,545
その他	△31,592	169,020
小計	1,383,687	1,446,580
利息及び配当金の受取額	11,168	31,472
利息の支払額	△34,045	△64,092
法人税等の還付額	9,106	—
法人税等の支払額	△443,093	△245,937
営業活動によるキャッシュ・フロー	926,823	1,168,023
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△942,167	△179,824
有形固定資産の売却による収入	200	3,550
無形固定資産の取得による支出	△25,181	△158,784
投資有価証券の取得による支出	△14,416	△10,472
投資有価証券の売却による収入	—	14,624
差入保証金の差入による支出	△5,427	△88,905
差入保証金の回収による収入	159	5,869
その他	△942	△5,350
投資活動によるキャッシュ・フロー	△987,775	△419,293
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△290,000	△300,000
長期借入れによる収入	995,500	60,000
長期借入金の返済による支出	△198,086	△321,077
リース債務の返済による支出	△77,215	△77,133
配当金の支払額	△154,461	△154,838
財務活動によるキャッシュ・フロー	275,737	△793,048
現金及び現金同等物に係る換算差額	41,246	17,964
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	256,031	△26,355
現金及び現金同等物の期首残高	854,675	1,110,707
現金及び現金同等物の期末残高	1,110,707	1,084,352

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書関係)

前連結会計年度において、「営業外収益」の「その他」に含めて表示しておりました「障害者雇用調整金」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度において区分掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外収益」の「その他」に表示しておりました10,085千円は、「障害者雇用調整金」4,228千円、「その他」5,857千円として組替えております。

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち独立した財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品・サービスごとに包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しており、「営業促進支援事業」「商品販売事業」の2つを報告セグメントとしております。

「営業促進支援事業」は、お客様自身の営業を一層促進していただくために、商品や販促品の企画開発から、アセンブリなどの生産支援、配送にいたるまで、製品・商品・サービスの提供をする事業であります。「商品販売事業」は、100円ショップや、ドラッグストアなどの小売販売店に向けて、商品を企画提案し、製造・調達し、提供する事業であります。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			計
	営業促進支援 事業	商品販売 事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	9,482,873	9,548,131	19,031,005	19,031,005
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	153,136	153,136	153,136
計	9,482,873	9,701,267	19,184,141	19,184,141
セグメント利益	354,207	393,309	747,516	747,516
セグメント資産	4,308,467	4,861,138	9,169,605	9,169,605
その他の項目				
減価償却費	111,493	75,974	187,468	187,468
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	82,517	904,953	987,470	987,470

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			計
	営業促進支援 事業	商品販売 事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	10,105,511	8,941,490	19,047,002	19,047,002
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	174,214	174,214	174,214
計	10,105,511	9,115,704	19,221,216	19,221,216
セグメント利益	874,591	456,587	1,331,179	1,331,179
セグメント資産	4,605,590	4,964,861	9,570,452	9,570,452
その他の項目				
減価償却費	132,091	108,186	240,278	240,278
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	153,199	179,720	332,920	332,920

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	19,184,141	19,221,216
セグメント間取引消去	△153,136	△174,214
連結損益計算書の売上高	19,031,005	19,047,002

(単位：千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	747,516	1,331,179
セグメント間取引消去	—	—
連結損益計算書の営業利益	747,516	1,331,179

(単位：千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	9,169,605	9,570,452
セグメント間取引消去	△3,910	△10,525
全社資産(注)	1,267,935	1,451,371
連結貸借対照表の資産合計	10,433,630	11,011,298

(注) 全社資産は、主に手元資金、本社管理部門に属する資産等、報告セグメントに帰属しない資産であります。

(単位：千円)

その他項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	187,468	240,278	—	—	187,468	240,278
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	987,470	332,920	—	16,181	987,470	349,102

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産	553.47円	664.79円
1株当たり当期純利益	60.48円	110.47円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	467,351	853,651
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	467,351	853,651
普通株式の期中平均株式数(株)	7,727,264	7,727,264

(重要な後発事象)

(連結子会社の吸収合併)

当社は、2025年12月15日開催の取締役会において、2026年4月1日を効力発生日として当社の完全子会社である株式会社ファインケメティックスを吸収合併することを決議し、同日付にて合併契約を締結いたしました。

この合併契約に基づき、2026年4月1日付で当社を存続会社とする吸収合併を行いました。

(1) 合併の目的

当社及び株式会社ファインケメティックスがそれぞれ培ってきた経営資源の集中と効率化を図り、事業体制をより一層強化していくことを目的に、吸収合併することといたしました。

(2) 取引の概要

①結合当事企業の名称	株式会社ファインケメティックス
②結合当事企業の事業内容	医薬部外品及び化粧品の受託製造、製造販売、輸出入事業
③企業結合日	2026年4月1日
④企業結合の法的形式	当社を存続会社、株式会社ファインケメティックスを消滅会社とする吸収合併
⑤結合後企業の名称	株式会社ショーエイコーポレーション

(3) 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として会計処理を行う予定であります。